

ごあいさつ

本校は、広島県の北東部に位置しており、平成26年に、三校が統合し新設された学校で、今年度、開校13年目を迎えます。同時に、連携型中高一貫校としても13年目を迎えます。

開校時より、校訓を「夢・実現」と定め、教育活動を進めてまいりました。

今年度は、1年生17名、2年生20名、3年生21名の計58名で、令和8年度の教育活動をスタートしております。

将来、神石高原町に貢献できる人材の育成、という神石高原町の学校教育目標に基づき、学校教育目標に、「未来を切り拓く生徒の育成」を掲げ、小・中連携や中・高連携、地域の方々の学びを通して、神石高原町をはじめ、社会に貢献できる資質・能力を身につけた生徒の育成をめざします。

具体的には、中学校区の3つの小学校と目指す方向を共通にもち、町内唯一の県立高校である油木高校と生徒に身につけさせたい資質・能力についての連続性をもたせ、様々な教育活動を推進します。

これまでも、地域の皆様方のご支援で本校の教育活動は支えられてきました。学校運営協議会制度に基づいた「コミュニティ・スクール」としての学校運営も6年目を迎え、これまで同様、地域からの多大なるご支援をいただきながら、引き続き、地域に出かけ、地域に学び、地域に愛され、地域の学校として教育活動を展開したいと思います。

どうぞ、ご支援ご協力をお願いいたします。

令和8年4月1日

神石高原町立神石高原中学校

校長 白石 順子